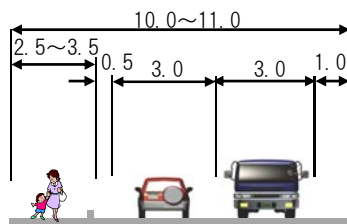


県道 倉敷総社線(倉敷市平田～浅原) 平成25年9月12日 14:00 供用開始



【事業概要】

延長: L=3,250m
幅員: W=6.0(10.0～11.0)m
全体事業費: 約54億円
事業期間: H10～25



【事業の必要性】

県道倉敷総社線は、倉敷市浜ノ茶屋(国道429号との交差点)から総社市駅前1丁目(国道180号との交差点)を結ぶ路線です。倉敷市中心部と総社市中心部を結び、地域間の連携強化による

交流促進や地域の生活交通を支える役割が期待されています。

しかしながら、現道は幅員が3～5mと狭い区間があり、車両相互の離合困難や自転車・歩行者の安全安心な通行に支障をきたしています。

現道の課題解決のため、バイパスの整備を行いました。



現道は歩道が未整備で、安全安心な道路空間の形成が課題となっています。



現道は幅員が狭く、交通の難所となっています。

バイパス整備により、交通課題を解消。

【整備効果】



■交通難所の解消

現道の幅員狭小区間をバイパスにより回避し、円滑な交通が確保され、倉敷市中心部から総社市中心部へのアクセス性が改善されます。



■安全安心な道路空間の形成

自転車歩行者道の設置により、歩行者・自転車の安全な通行空間が確保されます。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を使用した。(承認番号 平25中使 第2号)」